

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【宮田小人権週間の設定と人権メッセージの作成】	本校では、10月17日（月）～10月21日（金）を「宮田小人権週間」に設定し、各学級で人権に関する学習を行った。ワークシートを活用しながら、相手の気持ちにたった言い方や伝え方、話の聞き方について考えたり、友達とよいところを見つけ合ったりした。その後、児童全員が人権に関するメッセージを書く活動を行った。「友達との関わりについて」「いじめをなくすためには」「戦争のない平和な世界へ」などのことについて児童自身が感じたこと、考えたことをメッセージに書いた。
	成果 児童全員が人権に関するメッセージを書く経験をすることで、改めて人権について考えることができた。その中で、友達や家族の存在への感謝、世界で起こっている平和への歩みについてなど、人と人が共に生きていくことについて考えを深めることができた。
	課題 人権メッセージをどのように書けばよいか理解が難しい児童も見られた。メッセージを書く前の授業内容を工夫したり、テーマを複数提示し選択できるようにしたりするなど、工夫をする必要があると感じた。
2 実践2 【宮田小いじめゼロ集会の実施】	人権週間に関連させて、10月18日（火）にオンラインで「宮田小いじめゼロ集会」を行った。事務局委員会の児童中心に作成した、「いじめ」をテーマとするオリジナルの劇のビデオを視聴し、いじめについて考える時間を設けた。その後、学級ごとにクラスでの行動宣言を決め、校内の人権コーナーに掲示した。
	成果 ビデオで劇を見ることで、低学年でも自分事としていじめを捉えることができた。また、いじめを解決、なくすためにはみんなで協力する必要があることにも触れた内容だったため、一人一人がいじめをしない、させないという意識を多くの児童がもつことができた。
	課題 オンラインを活用して実施したが、他クラスの児童の姿は見えない形で実施したため、学級活動の延長のような形になってしまった。また、学級ごとに作成した行動宣言を掲示して終わってしまったので、オンラインを活用して発表するなど、宮田小全体で考えているという意識をもたせられるような工夫が必要であると感じた。